

中志

新春、おめでとうをいいた。

ちゅうし
中志白であった。

運命、運勢、運勢といった言葉がある。
自分はいつも運がない、運が悪いと思っている人はいないが、

運、という字が、運ぶ、でもあることを考えれば
運は静止しないと見える。

運は運をぶしつけて変化するのだ。

運がないと思っただけなら
自分で波をつくりだすしかない。

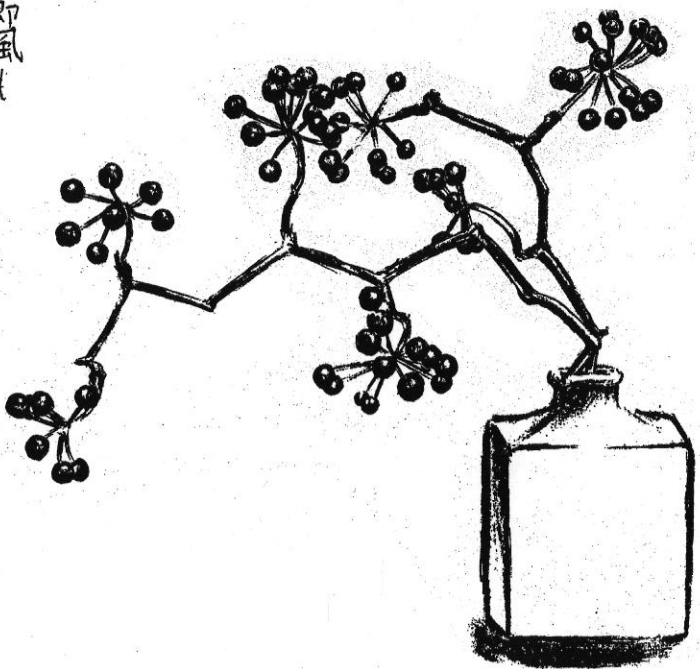
波とは一定のリズムのことだ。

多くのものが一定のリズムを持った
波の中で動いている。

朝・昼・夜、春夏秋冬、季節即風も
潮の干満も地球の自転も太陽や月星の運行も……

人間でいえば、日常生活における計画性のことという。
この二つ勉強、この二つ練習、これが運につながっていく。

運は変化するのだ。
変化させるのは神様ではない。自分だ。



古と出て
松に結びぬ
初みくじ

高木千秋

福三中
校長室
だより

ほたる草

平成二十九年一月二十七日(金)

NO.128